

「はじめての 複音ハーモニカに楽しくチャレンジ」を開催しました

平成22年6月4日から8月20日までの期間、6回にわたって三好美登里さんを講師にお迎えし、講座を開催しました。



幼いころ誰もが吹いたことのあるハーモニカは、身近な楽器と言えるでしょう。今回の講座は、そんな幼いころに耳にした懐かしい童謡や唱歌をたくさん演奏しました。

最初はC調ハーモニカの練習として、「春の小川」や「とんぼのめがね」「グッドバイ」など、明るく楽しい曲を練習しました。不思議なことにハーモニカは、知っている

曲は自然に吹くことができるのだそうです。歌詞を歌うような気持ちで吹くと、音階もスムーズに演奏できるということでした。だんだん曲をこなしてくると、更に高度な吹き方も加わりました。ハーモニカにはハンドカバーという演奏方法があります。左手で持って窪みを作り、右手で覆います。その右手を開いたり閉じたりすることで音の強弱ができ、音色に豊かな表情が出ます。他にもハーモニカの上段だけで吹くバイオリン奏法や、口の中で舌を動かしながら吹くマンドリン奏法といった、技術を要する演奏方法にもチャレンジしました。



ハーモニカをやっているとだんだん長音が吹けるようになり、呼吸法が身に付くということでした。指を動かし、呼吸器を使うことで、健康にもたいへん良いそうです。「何よりも教室でみんなと笑いながら練習することが大切」と講師の三好さんがおっしゃるように、練習の合間には楽しいお話をたくさんしてくださり、常に笑い声の絶えない講座となりました。